

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	本人が主体であり本人が地域との関係を継続しながら暮らしていくことを支援できる計画作成に向けて、家族や関係者の参加を得た担当者会議を開催して取り組むことを期待する。	より本人らしい生活を支援できる計画作成し、実行する。	計画作成担当者が主となり、本人、家族や関係者の参加を得た担当者会議を開催する。	3ヶ月
2	2	単発的な行事での関わりだけでなく、事業所自体が地域住民の一員として役割を担い、日常的な交流を行うことが大切である。	地域へ出掛ける機会をもち、日常的な交流を行うことができる。	自治会長の協力や情報をいただきながら、保育園や公民館が隣接している優位性を活用し、更に職員でアイデアを出しながら取り組む。	6ヶ月
3	35	災害時、利用者の安全を確保するためには、地域住民の協力が欠かせない。日頃から、地域や警察・消防署等と連携を図りながら、協力体制を築き、また、備蓄品や停電に対応した備品の確保にも取り組む必要がある。	地域住民との協力体制をつくる。備蓄品や備品を確保し、非常時に備える。	自治会長の協力をもらい、地域住民との協力体制を整備していく。法人栄養士や委託業者との打ち合わせを詰め、備蓄品の整備を行う。備品に関しても、非常事態を想定し、必要物品を整備する。	3ヶ月
4	54	利用者一人ひとりにとって安心して過ごせる居室空間作りとしては、さらなる取り組みが必要。本人の思いやこれまでの暮らしなどを理解しながら、より一層の工夫が必要である。	安心して居住できる一人ひとりに合わせた空間作りを行う。	一人ひとりのアセスメントを十分行い、家人等身近な方の協力をいただいて安心できる環境づくりを行う。	6ヶ月
5					ヶ月